

関連イベント

トークショー「トーベ・ヤンソンの世界」

トーベ・ヤンソン作品に長年携わってきた書籍編集者と、「ムーミン」の特集号などを手掛けた雑誌編集者が、トーベの作品の魅力について語ります。
フィンランドのクルーヴ島のお話も聞けるかも!?

日時 7月26日(日) 14:00～15:30

会場 あべのハルカス25階会議室

出演 横川浩子さん(講談社「ムーミン」シリーズ編集者)
森下訓子さん(白泉社「MOE」編集者)

定員 100名(先着順)

※トークショーの参加は無料ですが、本展の観覧券(半券可)が必要となります。
講演会当日13:30より、あべのハルカス25階にて受付開始。

真夏の演奏会

「フィンランド音楽を聴いてみよう」

フィンランドの民族楽器のカンテレとリコーダーの合奏です。
フィンランドの音楽と楽器についての説明や、
フィンランドでの夏の過ごし方などのお話もあります。

日時 8月2日(日) ①11:00～ ②14:00～(各 約30分) 入退場自由

会場 あべのハルカス17階ロビー

出演 大西智子さん(カンテレ奏者) 織田優子さん(リコーダー奏者)

ムーミンとちびのミイが

あべのハルカスに遊びにくるよ

開催 8月8日(土)

場所 あべのハルカス美術館 16階ロビー
あべのハルカス近鉄本店ウイング館4階

詳しい時間や内容については7月下旬までに
美術館公式HP (<http://www.aham.jp/>)にてお知らせいたします。



ムーミンの日 (トーベ・ヤンソンの生誕101年)

ムーミンの日(トーベ・ヤンソンの誕生日)を記念して、
来場者先着101名様に会場入口にてポストカードを
プレゼント。

開催 8月9日(日)

フィンランド料理を作ろう

フィンランド名物料理カレリアンビーラッカなど、
フィンランド料理を3品作る教室です。

開催 8月22日(土)

時間 ①11:00～ ②15:00～

会場 辻ウェルネスクッキング近鉄あべのハルカス校
あべのハルカス近鉄本店タワー館9階

料金 展覧会チケット付で6,480円【税込】

定員 各20名(事前申込制・先着順)

※受付は先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。
※各回、参加者が5名以下の場合は中止になる場合がございます。

申込方法

辻ウェルネスクッキング近鉄あべのハルカス校
06-6654-6014へお電話にて申し込みください。
6月22日(月)より受付開始(受付時間(日・祝除く)10時～19時)

親子で楽しむ こどもDAY

開催 8月24日(月)

時間 10:00～18:00(入館は閉館30分前まで)

詳細 小学生は入場無料(通常500円)

保護者(大人)は1名様まで半額(通常1,200円→600円)

●大人は2人目からは通常料金(1,200円)
●乳幼児(常時無料)の保護者(大人)も1名様まで半額。
●お子様を同伴されていないお客様も、通常料金にて入場可能です。
※安全対策上、小学生だけの入場はお断りしております。
必ず保護者同伴でご入場ください。

写真: © Moomin Characters ™

GOODS

期間中しか買えない
展覧会オリジナルグッズも多数!
(あべのハルカス美術館ミュージアムショップ)



さらに、展覧会限定ショップ・
ムーミンカフェも登場!!

・あべのハルカス近鉄本店 ウイング館4階
・8月7日(金)～9月27日(日)

観覧料(税込)	当日	前売・団体
一般	1,200円	1,000円
大学・高校生	800円	600円
中学・小学生	500円	300円

* 団体料金は15名様以上からの適用になります。
* 障がい者手帳等をお持ちの方は、ご本人と付き添い1名様まで
当日料金の半額でご覧いただけます。

* 前売券は7月24日(金)まで販売。
* 本展観覧券(半券可)の提示で、「伝説の洋画家たち 二科100年展」
(9月12日(土)～11月1日(日)、大阪市立美術館)の当日券を100円引きでご購入いただけます。

チケット 販売所	あべのハルカス美術館ミュージアムショップ、近鉄駅営業所、セブンイレブン(セブンコード=039-165)、チケットぴあ(Pコード=766-885)、 ローソンチケット(Lコード=52567)、イープラス、CNプレイガイド、ファミリーマート、サークルKサンクス、ミニストップほか
-------------	--

グッズセット前売券

一般のみ: 1,300円【税込】

展覧会オリジナルグッズ「木製マスコット」
(全6種うち1種)がセットになったお得な前売券!
7月24日までチケットぴあ、ほか主要プレイガイド
で限定販売。

※売り切れ次第終了。※グッズ「木製マスコット」の種類は選べません。(写真はイメージです)
※会期中にあべのハルカス美術館ミュージアムショップにて、
前売券に付く「グッズ引換券」とお引き換えください。



あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

〒545-6016
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階
お問い合わせ: TEL. 06-4399-9050
【美術館公式HP】<http://www.aham.jp/>

ACCESS

あべのハルカス美術館へは、シャトルエレベーター【乗り口: 地下1階】をご利用ください。

近鉄「大阪阿部野橋駅」、JR・地下鉄「天王寺駅」、阪堺上町線「天王寺駅前駅」下車すぐ
駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

●新大阪から: 地下鉄御堂筋線新大阪駅～天王寺駅 約21分 ●梅田から: 地下鉄御堂筋線梅田駅～天王寺駅 約15分
※所要時間は、昼間標準です。

展覧会についてはこちら

www.asahi.com/event/tove100/

生誕100周年

トーベ・ヤンソン展

～ムーミンと生きる～

Tove Jansson

© Moomin Characters ™
TOVE 100



彼女がみつけて、愛したもののたち。

2015.
7.25 Sat - 9.27 Sun

開館時間: 火曜～金曜 / 10時～20時、土・日・祝日 / 10時～18時
休 館 日: 月曜(ただし8月10日、17日、24日、9月14日、21日は開館[10時～18時])
※サマータイムデー: 8月8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日)は閉館時間を20時まで延長
※いずれも入館は閉館の30分前まで

あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

あべのハルカス16階

主催: あべのハルカス美術館、朝日新聞社 後援: フィンランド大使館
協賛: エプソン販売(株)、日本写真印刷、大阪芸術大学グループ
協力: フィンランド国立アテネウム美術館、(株)タトル・モリ エイジェンシー、フィンエアー、フィンエアー・カーゴ、(株)河出書房新社、
(公財)ギャラリーエークワッド、(株)講談社、S2(株)、オルビス(株)

【上から】撮影: ベル・ウルフ・ヤンソン (トーベ・ヤンソン) 1960年代終わり～1970年代初頭 © Tove Jansson Estate / トーベ・ヤンソン 《絵本
「ムーミン谷へのふしぎな旅」挿絵》タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館 1977年 グラフシュ・紙 © Moomin Characters ™ / トーベ・ヤンソン
(山猫の毛皮をもとった自画像) 個人蔵 1942年 油彩・カンヴァス © Tove Jansson Estate

ムーミンの生みの親、トーベ・ヤンソンの 創作の秘密とライフスタイルにも迫る大回顧展

「ムーミン」シリーズを生んだトーベ・ヤンソン（1914-2001）の生誕100周年を記念した展覧会です。フィンランド国立アテネウム美術館で開催の回顧展（2014年3月～9月）を再構成した日本巡回展で、あべのハルカス美術館が国内最後の会場となります。

代表作である「ムーミン」シリーズの挿絵原画のほか、政治風刺雑誌のためのイラスト、生涯を通して挑戦し

続けた油彩作品、「不思議の国のアリス」をはじめとする児童文学の挿絵など400点以上を紹介します。また約30年間、彼女がほぼ毎年夏を過ごしたクルーヴ島^{ハル}の「夏の家」の再現モデルを特別展示し、作家の全貌に迫ります。

トーベ・ヤンソン生誕100周年を締めくくる、展覧会をどうぞお見逃しなく。

見逃せない！ 大阪のトーベ・ヤンソン展

- 2014-15年はトーベの生誕100周年を祝う特別な年「TOVE 100」！
- 展覧会会期中の8月9日はムーミンの日（トーベ・ヤンソン生誕101年）！
- あべのハルカス美術館が日本の最終会場！

1 芸術家への道 Aspiring Artist



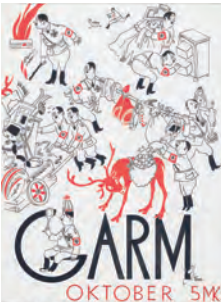
[左から]トーベ・ヤンソン 《神秘的な風景》 フィンランド国立アテネウム美術館 1930年代 油彩・合板 © Tove Jansson Estate / トーベ・ヤンソン 《木の根元で眠る者たち》 タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館 1930年代 グワッシュ、インク・紙 © Tove Jansson Estate



2 戦争と青春 War Time and Youth

戦時中もトーベは熱心に創作活動に取り組みます。1943年には初の個展を開催、数回の個展で絵画の発表を続けました。

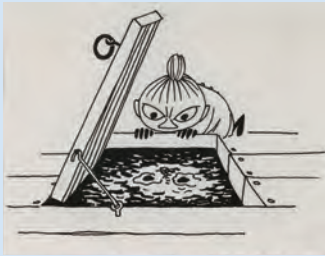
貴重な定期収入は政治風刺雑誌「ガラム」の挿絵の仕事で、戦時政策に対する批判を、ユーモアを交えて果敢に表しました。



[上から]トーベ・ヤンソン 《「ガラム」1944年10月号表紙》 タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館 1944年 インク、水彩・紙 © Tove Jansson Estate / トーベ・ヤンソン 《家族》 個人蔵 1942年 油彩・カンヴァス © Tove Jansson Estate

3 ムーミン (1945-59) The Moomins (1945-59)

戦争からの逃避として40年代に書き始めたムーミン物語は全9作。表現力豊かな線描、水彩、スクラッチボードなどの技法を駆使した挿絵が、物語に匹敵する魅力を放っています。イギリスで連載マンガが1954年にスタートしてから、トーベは一躍有名になりました。



[左上]トーベ・ヤンソン 《「ムーミン谷の彗星」挿絵》 タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館 1946年 インク・紙 © Moomin Characters ™ / [左下]トーベ・ヤンソン 《「ムーミン谷の夏まつり」挿絵》 タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館 1954年 インク・紙 © Moomin Characters ™ / [右]トーベ・ヤンソン 《「ムーミン谷の冬」挿絵》 タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館 1957年 スクラッチボード © Moomin Characters ™



4 画家として As a Painter

常に自分は画家であると考えたトーベは、連載マンガが終了した60年代から絵画に専念し抽象表現にも挑戦します。70年代以降は絵画から少し離れますが、1975年制作の《自画像》は、力強い筆使いから、代表作の一つとされます。



[上]トーベ・ヤンソン 《風化》 タンペレ市立美術館 1965年 油彩・カンヴァス © Tove Jansson Estate [左下]トーベ・ヤンソン 《自画像》 個人 1975年 油彩・カンヴァス © Tove Jansson Estate [右下]トーベ・ヤンソン 《グラフィック・アーティスト》 個人 1975年 油彩・カンヴァス © Tove Jansson Estate

5 ムーミン (1960年以降) The Moomins (after 1960)

60年代にはムーミン絵本の2作目、ムーミン物語の7、8作目を出版します。そして最愛の母が亡くなった1970年に、最後のムーミン物語となる『ムーミン谷の十一月』を出版します。その頃から、大人向けの小説にも力を注ぐようになり、1977年の絵本『ムーミン谷へのふしぎな旅』（チラシ表紙）がトーベが絵と文の両方を手がけた最後の絵本になりました。1976年からはムーミン屋敷の模型制作も始めます。



トゥーリッキ・ピエティラ 《「ムーミン谷の冬」より 春》 タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館 1989年 ミクストメディア © Moomin Characters ™

6 広がる創作の世界 Various Other Works

ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』や、J.R.R.トールキンの『ホビットの冒険』の挿絵、フィンランド各地の公共施設の壁画も数多く手掛けました。世界的な人気者のムーミンは、その後も演劇、映画、アニメなど様々な舞台で活躍し続けています。



[上から]トーベ・ヤンソン 《「不思議の国のアリス」挿絵》 タンペレ市立美術館 ムーミン谷博物館 1966年 水彩、インク・紙 © Tove Jansson Estate / トーベ・ヤンソン 《滞在（ヴィヴェカとトーベ）》 個人蔵 1940年代 インク、鉛筆・紙 © Moomin Characters ™

トーベにとって大切な場所 「夏の家」

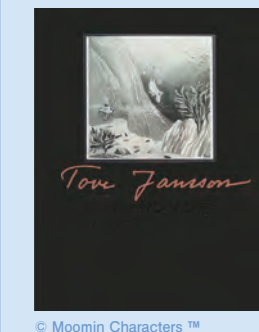
1964年、トーベはヘルシンキから50キロほど離れたベッリング群島沖のクルーヴ島を借りて小屋を建て、1965年から91年まで、友人のトゥーリッキ・ピエティラとともにほぼ毎夏をこの島で過ごしました。「夏の家」とも呼ばれるこの小屋は、ひと部屋だけの質素な建物です。島は小さく荒涼とし、天候は時に厳しく、風の状態によっては岸に上がることができませんでしたが、ふたりは島での暮らしを愛しました。



撮影：ペル・ウロフ・ヤンソン © Tove Jansson Estate



撮影：光富昇馬 提供：ギャラリーエークワッド



© Moomin Characters ™

フィンランドから出品された全作品を収録した展覧会図録もあります。トゥーラ・カルヤライネンさん（本展監修者）と冨原真弓さん（聖心女子大学教授）によるエッセーなどを掲載、トーベ・ヤンソンの作品をより深く知ることができる資料です。ムーミンの関連書籍の装丁を数多く手がけている、祖父江慎さんのデザインにも注目です。

価格：3,000円（税込）
2014年発行 / 254ページ、B5変形判